

海外巡回健康相談ーミャンマー、ヤンゴン (2019/8/30-9/3)

1)ミャンマーで健康相談会を実施(8/31-9/1)

ミャンマーの在留邦人数は2,608人(前年比113%)。日系企業の拠点数は438(前年比110.3%) [外務省海外在留邦人数調査統計2018年版]。今年度はJOMFの最後の海外巡回健康相談となるが、今年度第3弾はミャンマーのヤンゴン。昨年同様にサクラタワーのヤンゴン日本人会事務所において8月31日(土)、9月1日(日)の2日間、小児科・歯科相談を実施した。



ミャンマー巡回健康相談実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ヤンゴン (8/31, 9/1)	ヤンゴン日本人会 (サクラタワー)	小児科相談会	元田玲奈先生	22
		歯科相談会	田中健一先生	73

参加者合計 95名

2)ヤンゴン日本人会

- ヤンゴンの健康相談会はヤンゴン日本人会(中川勝司会長)主催、JOMF協力で開催された。
- 相談会を担当くださったのは、日本人会厚生担当の中島洸潤さん。今年度はネット予約の導入、広報の間口拡大など、中島さんの積極的な取り組みにより、相談会参加者は倍増した。

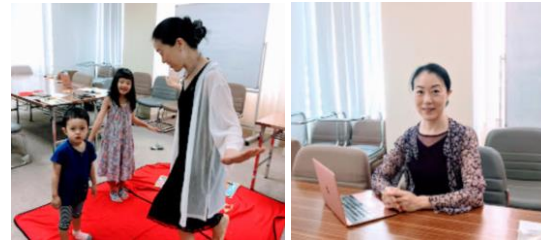


日本人会厚生担当の中島さん
(右から2番目)

今年も受付のお手伝い
をしてくれたカインさん

3)小児科相談会

- 小児科相談会の担当医はシンガポールの日系クリニック院長、元田玲奈先生。
- プロフィール: 1996年東京大学医学部医学科を卒業。東大医学部附属病院、千葉西総合病院、鹿児島県徳之島徳洲会病院、シンガポールInstitute of Molecular and Cell Biologyで基礎研究に従事し、医学博士号取得。虎ノ門病院を経て現職。



4)歯科相談会

- 歯科相談会を担当した歯科医は西埼玉中央病院勤務、北京天衛診療所 医療顧問の田中健一先生。
- 今年はいよいよ専用のアプリを使ってタブレットに画像を映し出す口内カメラを導入。相談者のスマホにも画像が送られ、取り込むことができます。



お母さんによく見てもらう

かがみを持って自分で確かめよう

家族みんなで共有しよう

画像はスマホに取込んで診療時の説明に使おう

会場ヤンゴン日本人会事務所

5)ヤンゴン医療事情

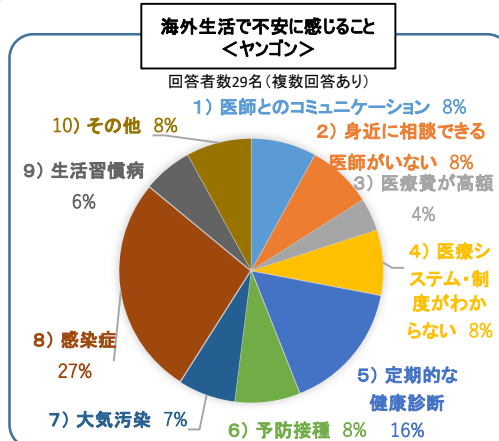
健康相談の参加者へ現地の医療事情についてアンケートを実施。

ヤンゴンにおいて医療に不安を持つ人は30名中29名(97%)。

不安要因のトップ3は;

- ① 感染症(27%)
 - ② 定期的な健康診断(16%)
 - ③ 医師とのコミュニケーション(8%)
- 身近に相談できる医者がいない(8%)
医療システム・制度がわからない(8%)
予防接種(8%)

海外医療事情調査の詳細はJOMF HPの会員サイト参照



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の地域には、2001年から日本人医師を巡回派遣して、健康相談、講演、歯科健診などを行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・ウェブ掲示板による医療相談を受けたり、海外医療事情に関する講演会、セミナー等を開催している。

JOMFの事業内容ー海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyoku/special.htm>